

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 14 日（土）

開会：午前 10 時 00 分 閉会：午前 11 時 40 分

場所：穴太多目的研修センター

参加者：男 24 人、女 1 人 計 25 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 今町長が話された、やろうとしているまちづくりは一部ですか。ぶどうとかブルーベリーとかですが。

町長 当然一部です。

男性 ほかにアイデアとしてどのようなことがありますか。

町長 色々ありますが制約があります。例えば、来年の 3 月に東員インターができますよね。そうするとあの地区は限定的ですが、可能性が出てくるんです。例えば出入り口から 300m 以内は開発可能とかね。今ほとんどイオンなんです。ただ、1km 以内に物流とか休憩所とかであればできるので、そういうものを活用するのは必要なのかなと思っています。もう一つはまだできる目途は全然たっていないのですが、六把野駅と北大社駅が一つになって東員駅ができました。ところが駅ができたけれども周りに何もないんですよね。駅の周りに人が住んでいて鉄道で移動するのが鉄道の役割なんです。駅の周りに人が住んでいない、だからできれば駅の周りの開発をしたい、少し小さな町づくりをしたいと国土交通省や農林水産省に働きかけていますが、なかなか難しいですが、そういう規制をなんとか外しながらそういうことにつなげていきたいなと思っています。この穴太は駅があります。ここも限定的に不自由な土地がありますので、駅周辺ということで、何とか我々は考えていかなければと思っています。

男性 ほかに二つほどありますが、アンケートをもらったので出しましたが、長深と中上の中学生は通学路に非常に苦労しています。今日は雨でも休みなものでいいですが、雨降りの日は大変です。親が見て通学路はもっとなんとかできないのかと思っていると思うんですが、どんな通学路を通っているのか見たことがありますか。もう少しなんとかしていただきたい。

町長

通学路については、まず一中の話なんですけど、一中が施設として一番古く 50 年以上経っています。ですから一中の建て替えという問題が出てきています。少なくとも 10 年以内には建て替えなければならない、そうしないと子どもたちが危ないんです。ただ学校の適正委員会というのがあってそこで議論していますが、一中は昔、七和と東員町と一部事務組合で作られた学校ということで、東員町としては端っこなので、移転した方がという議論もあります。それがどうなるのか 2、3 年の間に結論は出さなければいけないですが、通学路の話ですが、この道路は県道です。他からも色々ご意見をいただいています、県に通学のことも含めてお願いをしていますが、県もお金がないからなかなかうんと言ってもらえないし、なかなか手をつけてもらえない、三重県中そんな状況です。私は雨がどうというより、交通量が非常に多いですから安全面だと思っています。雨ならかっぱを着ればいい、私たちもそうしてきました。ただ、昔と比べて交通量が増えてきて危ないのでそこを何とかしなければいけないと思っていますが、県道ですから我々が手をつけるわけにもいかないし、通学路のルートについても議論はしていますが、なかなか難しいのが現状です。できるだけ、子どもたちに安全な通学路になるように努力させていただきます。

男性

中央大橋を渡るとき車だらけである。よくあんなところを通れるなと思いますよ、事故が起こってからでは遅いので、もっと具体的にやってほしいです。まちづくりは結構ですけど、まず子どもの安全を考えてほしい。それともう一つ、町のバスですが、ほとんど空で走っています。もっと穴太とかネオポリスとかイオンモールとかバスの運行を考えたらどうですか。

町長

私もその通りだと思います。空気を運んでいるのではないかと思っていました。そして去年ルートを変えました。何故かという、バスの行っていない空白地があり、うちはこないとか色々なお話しがありました。それならできるだけ空白地をなくそうとバスのルートを変えました。変えたら余計不便になったとかの苦情が来ています。たくさんの人を乗せて走っていたネオポリス地区の方から主に不便になったと苦情がきています。今まではここにきていないとか色々な苦情を受けて空白地をなくそうとルートを見直したところ、お金も少し増やしましたが、実際の話は苦情が多いので、バスはどんなことをやっても、皆さんが満足するルートは絶対できません。お金さえ出せば細かく走らせることができるからいいですが、そのかわり空気をもっと運びます。だからできるだけ使っていただけるかという議論をしています、どうなるかわかりませんが、陸運局の申請とかで時間がかかって、来年の 10 月しかできませんが、変えようと思っています。4 年前にバスは空気を運んでますから、バスに変えてオンデマンドといって、呼ばれたらどこへでも行けるような形態をしようかとも考えましたが、アンケートをとったら、バスでなければならないというほとんどの意見がありました。このバスでできるだけ効率が良くて、皆さんが利用できるということを考えたのですが、なかなか難しいんです。ベストがないんです。できるだ

け、ロスの少ないような、皆さんに少しでも便利のように考えざるをえないと思っています。

男性 ネオポリスだけです。文句言うのは。ネオポリスだけ便利にと文句をいうんです。ほかは使ってないですよ。そこら辺をよく考えてやってもらわないと、金を使うだけで意味ないですよ。以上です。

男性 東員駅周辺の開発は大いに結構だと思うんですけど、その前に、交番から文化センターまでをまっすぐの道、東員駅から西向いて役場向いて行く広い道とか、無駄な道があるんですよ。道が欲しいところがない。駅前を開発するなら、都市計画決定で余分なものが建たないような縛りをして、有効な道路を作って開発したらどうかと思います。あともう一点、今町内あちこちでミニ開発をやっていますよね。どこに行っても行き止まりが必ずあるんです。今から15年ほど前かな、穴太で火災があったのですが、その現場が一番奥の家だったのでホースを持っていっても、近くのトタンの屋根をやぶらないことには、消火ができなかったことがあるので、安全安心なまちづくりの観点から、たとえ3メートルでも既設の道路に接続するような指導ができませんか。

町長 まず一点目、消防署の前の通りは県道なんですけど、文化センターの前でクランクになっていて、あんな使い勝手のよくない道はないので、県に要望して変えようとしています。道路をクランクじゃなくてまっすぐにしたいんです。非常に規制が厳しいですが、もし東員駅周辺にまちづくりができれば、あの道路も生きてくると思います。あとミニ開発の行き止まりは私も一緒の考え方だったんです。北大社のミニ開発を見て、危なくて仕方がないと思いました。穴太の開発申請が出てきたときに、これは許可を下すなという話をしたら、大変なことになりました。開発業者から今まで事例があって、なぜこれだけ認めないんだということで、我々も裁判になったら負けるだろうから許可を下ろさざるを得なかったということがあります。事例ができていますから、なかなか難しいんです。防災上で危ないのはよくないと思っていますので、努力はしますが、お願いしかできないんです。

男性 交通量が大変多くなってきていて、穴太駅からサンシパークまで行く道ですけど、あそこの中に私の田んぼがあるのですが、農作業している間によくトラブルがあるんです。

町長 それについては、自治会長さんから色々聞いています。あそこに待避所を作ろうかという話もしています。今建設課で検討させていただいています。

男性 待避所の話が出た時に、私のところの田んぼに待避所を作らしてくれっていう話が

でたんですけど、私は反対したんです。なぜかという、びん、かん、ペットボトル今でもものすごい数落ちています。そこへ待避所を作ったら、私の田んぼはごみ箱になるなと思ひ賛成できなかつたんです。田んぼの法面に待避所をとということだったんですけど、私の田んぼがごみ溜めになると思つてね。かんやペットはまだしも、びんは危なくて仕方ないからね。

男性 ネットをはるかね。

男性 そりゃもう2メートル3メートルのネットをはらなきやどうしようもないわ。

町長 通行止めにしたらいいんですが、そうすると自分たちの車も入っていけないので、なかなか難しいですよ。だからといって通るなっていうわけにもいかないですしね。中上でも同じことがあつたんですよ。

男性 農作業専用道という看板を立てたらどうか。

町長 立ててあるんですよ。

男性 もっと大きな看板で、これは一般道じゃないんだなと認識させるとか。それでもだめなら何か仕掛けをすとか。よそから来た人は農免道路か一般道路かなんてわからないからね。

男性 まあその話はあとにして、進めましょう。

男性 先ほど人口減少との話がありましたが、主な原因は団地だと思うんです。在来は三世代がうまく回転している。だから東員町全体で人口が減少すると在来にいわれたつて、特に神田と稲部は増えている。三和は若干減っているかもしれないけど、大きい減りは団地にあるので、団地に絞って笹尾の団地をどうするかをやはり行政は専門家も入れて検討しなければ解決しないですよ。人口が減れば当然税収も減るし、高齢化が進めば年金生活者が多いから税金は減るんです。税金を減らないようにするにはどうするといいいのか、それは人口を減らさないようにしたらいい。やっぱり東員町は都市近郊型農村なので田舎の山奥とは違うんですよ。そこと一緒にして行政をやれといつても東員町には絶対できないですよ。先ほど町長が言われた東員町で採れた食べ物をやるなんて東員町でできますか。東員町の出生率は東京と同じなんです。子どもが非常に少ないんです。そんな町で、自分のところで採れた食べ物で観光をなんて、東員町の財政ではできませんよ。それよりか企業誘致をどうするか、なかなか都市計画は難しいです。難しいけれど、知恵を絞らなければできそうにないですよ。どう考えているんですか。

町長

団地については、高齢化が進んでいます。ですから今若い人への循環を考えています。空き家の調査をしました。在来地区を含めてですが今整理しています。ところが、空き家についてはネオポリス地区は割と少ないんです。というのは循環するんです。しかし、空いた土地はありますので、そこへ若い人が住みつくことを推奨しています。その一つが笹尾西1丁目にある保育園の跡地で、若い人が入ってくれることを条件に10数戸の開発をしようとしています。他にも空いている土地があるので、そういう方向で笹尾地区は考えていこうと思っています。城山地区については、まだ高齢化率はそんなに高くはないのですが、空きが少ないので、もう少し将来は回転を考えていかねばならないと思うのですが、ネオポリス地区にはできるだけ若い人に入っただけように考えています。もう一つは先ほど東員駅周辺の話をしました。ネオポリス地区は高齢者の独居世帯が増えています。その人をできれば、東員駅周辺などに集合住宅、高齢者のマンションができれば、そこに入る方はいるのかなと思っています。東員病院とかに実績がありますので、高齢の方に平地の便利なところに来てもらって、坂の街には若い人に入ってもらおうという構想も持っています。少なくともそういう開発ができなければなかなか難しいですが。

それから、企業誘致の話ですが、今は東員病院の隣のハイブリットパークくらいしかありません。あっても4ヘクタールしかありません。大きな企業というのはまず無理です。今大きな企業は外国に出ていって、企業誘致も難しい時代に入っています。ただ我々が期待しているのは東海環状が繋がるということですが、今の状況からするといつ開通するかわからないので、今すぐ企業誘致を積極的に進めるのはなかなか難しいかなと思っています。いくら都市に近い町でも生きていくためには我々が自分たちで何とかしなければいけないということです。ですから特産品が作れるわけがない、と言い切ったらその時にできないんです。それをやろう、やったらできるかもわからないということでやり始めています。これは続けることが大事だと思っています。町民の皆さんと一緒に何かを作り出すことをしないとその町はなくなってしまう。企業誘致は一つの賭けみたいなところがありまして、来てもらってもうまくいくのかということもあります。ただ企業さんには来ていただけるなら来てほしいという思いはありますが、それをじっと待っているのか、もし来なかった場合のことを考えて我々が何をしなければいけないかを考えなければと思っています。そんなことできるわけがないではなくて、やらなければいけないと私は思っています。

男性

東員町全体でやろうとすると財政が追い付かなくなるのではないかと私は思います。

町長

農業だけ考えているのではなくて、色々なことを複合的に考えなければならぬと思っています。例えば中部公園に10数万人の方に来ていただいているのに、あそこの維持管理費も出ない、来れば来るほど荒れていくからもっといなるようになるかもしれない、ですから維持管理ができるだけのものは落としてもらう仕組みがいるのではな

いかと私は言っているんです。例えば大社祭でもたくさんの方が来ます。ですが、よそから店を開く人がきて、祭りが終わったら町外に出ていく。町内が潤わない。ですから、町内でお金を落としてもらう仕組みとこれをこれから作っていかないと、何をやっているかわからない。お金を落としてもらう仕組みができないと、町民の皆さんの税金をそこへつぎ込むことになるのですから、そういうことを我々は少しずつやっていたらいけないと思っています。

男性

中部公園は、私のときからなんですが、都市公園の中にそういうものはできないと法律的なものがあって、職員と色々議論しましたが、商売みたいなことはできないんだとなって、私も悩んだんです。町長さんが商売的なものを入れていくのであれば私は結構なんですが、安全安心なまちづくりを手腕にして進めてもらいたい。東員町は自然災害も少ないですので、事故のような人的災害が起きないような、安心な道路を作っていただきたいと思います。

男性

娘の家を農地転用して、下水も水道もつけるのは OK だと言われたんです。今年の1月も2月も役場の水道課の人に OK だと言われていたのに、この9月に工事を始めようとしたら業者の人にできませんと言われました。住友林業と立ち会ったときに下水をやろうとしたら、高低差の問題がありまして、できないということになったらしいんです。最初に約束をしていた人が4月に課が変わって、下水の課にいないということだったので、その担当だった者をお呼びくださいといったんですけどね。

町長

その話は個別のことなので、また聞かせていただきます。